



担任の先生から1人ずつ紹介される新1年生

期待に胸をふくらませ 市内小中学校で入学式

市内小中学校で4月5、6、7日、入学式が行われました。今年度、市内では小学校257人、中学校306人の新入生が期待を胸に、新たな学校生活の第一歩を踏み出しました。

このうち、51人の新1年生を迎えた柏小中学校では、猪股義仁校長が「登下校時は安全に気をつけましょう。早寝早起きをして、あいさつは元気よくしてください」と式辞。児童を代表して6年生の葛西敦季くんは「わからないことは何でも聞いてください。友達をいっぱいつくりましょう」と歓迎のことばを述べました。また、式ではつがる地区交通安全協会柏支部（神武美支部長）から黄色安全帽が贈られ、全校児童で校歌を歌い新しい仲間を歓迎しました。

スクールサポーターへ辞令交付

児童生徒の学習活動などをサポートする学校教育活動支援員（スクールサポーター）の辞令交付式が4月2日、松の館で行われ、22人の支援員に辞令が交付されました。

交付式では葛西岨輔教育長が「先生方とスクラムを組みながら活動に取り組んでほしい」と激励のあいさつ。向陽小学校で勤務となる高橋里佳さんは「子どもたちが過ごしやすい学校生活を送れるようにしたい」と決意を話していました。

市教育委員会では教育活動上の生活支援および学習支援を目的に平成18年度からこの取り組みを実施。各校の教育的ニーズに幅広く対応できるよう、今年度より市内全ての小中学校に支援員を配置します。



葛西教育長より辞令交付



ふるさと検定に挑戦する受検者

歴史や文化の難問に挑戦 つがる市ふるさと検定

NPO法人つがる野文庫の会（平川智枝子理事長）が主催する「第4回つがる市ふるさと検定」が3月22日、松の館で行われ、小学生から71歳までの19人が受検しました。一般の部は4択式100問、小学生は〇×式50問で、歴史、文化、人物、名勝などから出題された問題に挑み、70点（小学生は35点）以上正解した6人が認定証を受け取りました。小学生の部からただ一人合格した三上桃果さん（稲垣西小）は「難しかったけど78点取れて嬉しかった。間違えたところを見直して来年も挑戦したい」と、また、99点を取った藤本フミ子さん（木造）は「小学校社会科副読本と広報紙で勉強しました。次は100点満点を目指します」と話していました。

稲垣少年クラブが準優勝 北日本小学生バレー

第29回北日本小学生バレーボール稲垣大会が4月13日、稲垣体育館を主会場に開催され、青森、岩手、秋田、宮城、山形から参加した男女各12チームが日ごろの練習の成果を競い合いました。

開会式で稲垣少年クラブの佐藤壮太くんと稲垣ジュニアの山本萌瑛乃さんが「最後の瞬間までボールをつなぎます」と力強く宣誓し大会がスタート。稲垣少年クラブは予選リーグ、決勝リーグ準決勝を順当に勝ち進みましたが、決勝で花巻（岩手県）に惜しくも敗れ、2大会連続の準優勝となりました。

女子の部では、堀越JVC（弘前市）が高清水VBS（秋田県）を下し、2連覇を飾りました。



手に汗握る大接戦の男子決勝

交通ルールを守りましょう

春の全国交通安全運動（4月6日～15日）に合わせ、つがる市民交通事故防止総決起大会が4月7日、松の館で行われ、約200人が交通安全へ決意を新たにしました。

大会は、つがる地区交通安全協会（桜庭修会長）と市交通安全母の会連合会（花岡トキ会長）が主催。つがる警察署の上田修署長は「雪解けに伴って、交通事故が多発しがちな時期。関係機関と連携をとりながら街頭活動をしていきたい」とあいさつしました。柴田子供交通指導隊は「事故のないつがる市にしましょう」と大きな声で参加者に呼び掛け、もりた保育園こども交通指導隊は交通ルールの確認を訴える体操を披露しました。



交通安全の体操を披露するもりた保育園こども交通指導隊



ドライバーに交通安全を呼び掛ける園児ら

保育園児が交通安全を呼び掛け

交通安全運動の一環として4月8日、菰槌保育園（大橋登美子園長）の園児23人が路上でドライバーに安全運転を呼び掛けました。

園児たちは元気な声で「安全運転をお願いします」と市赤十字奉仕団が制作した交通安全の標語入りの手作りマスコットを手渡ししながら交通事故防止を訴えていました。マスコットには「スピードだしすぎないでね」などと園児の手書きメッセージが添えられ、受け取ったドライバーは笑顔でお礼を言っていました。その後、同保育園内でつがる警察署員による交通安全教室も行われ、園児たちは信号機や横断歩道の渡り方などの交通ルールについて学びました。

火災の発生防止を呼び掛ける

「消すまでは 心の警報 ONのまま」をスローガンに春の火災予防運動（4月14日～20日）のパレード出動式が4月14日、松の館駐車場で行われました。

式には消防団員66人、23台の消防車両が参加し、福島市長が「空気が乾燥し火災が発生しやすい時期を迎えることから、引き続き地域の安全のため注意を払ってください」とあいさつ。箱田鐵雄消防団長が「地域住民との連携を密にして防災パトロールに努めてもらいたい」と訓示しました。

式終了後、団員は市内各地をパレードし、火災発生予防を呼び掛けました。



パレードに出発する消防団員



100歳の三浦ツルさん(左)と佐々木ヤサさん(右)

三浦ツルさん、佐々木ヤサさん100歳長寿おめでとう

大正3年生まれの三浦ツルさん(柏)が4月16日、佐々木ヤサさん(木造)が4月20日に満100歳を迎えられ、市から顕彰状と記念品が贈られました。

三浦さんは子ども4人、孫10人。ひ孫、玄孫にも恵まれました。弘前市で同居する長男の直樹さんは「丈夫な胃腸が長生きの秘訣ではないか。今でも好んでお肉を食べます」と話していました。

五所川原市の緑風苑に入所している佐々木さんは、子ども4人、孫8人、ひ孫4人。お祝いに駆け付けた長女の葛西やエさんは、「何でもよく食べ、腹八分目を守ることが健康につながっている」と長寿を祝っていました。

自治会活動を応援します つがる市自治組織活動助成事業

～ 平成26年度から「駐車場舗装事業」と「集会施設改修事業」が新たに追加となりました ～

自治会は、住みよい地域社会の実現に向け、地域全体のさまざまな課題を協働して解決していく組織であると同時に、住民相互のコミュニケーションづくりの中心となるものです。

この事業は、市民に最も身近な存在である自治会に対して市が財政的に支援し、住民活動の活性化を図ることを目的とするものです。

補助対象団体 市内に所在する自治会（町内会）

補助対象費用 ①備品等整備事業

自治会主催の行事や集会所等で使用される物品の整備費用（上限50万円）

（例）発電機、エアコン、ストーブ、テレビ、草刈機、テント、冷蔵庫、掃除機など

②集会施設トイレ改修事業

自治会が所有し、または市から借受けして管理する集会施設トイレの水洗化・下水道接続・便器洋式化工事に要する費用（上限330万円。設計監理費用含む。）

③駐車場舗装事業

自治会が所有し、または市から借受けして管理する集会施設に付帯する未舗装の駐車場を舗装する工事に要する費用（上限300万円）

④集会施設改修事業

自治会が所有し、または市から借受けして管理する集会施設の維持管理上必要と認められる修繕工事に要する費用（上限100万円）

事業実施期間 平成23年度から平成27年度まで

※助成は、期間中1団体につき各事業1回に限ります。

申請受付期間 随時（通年）受け付けします。

留意事項

①事務手続きについては、事前にご相談ください。

②物品の使用法やその保管場所、改修する施設の土地所有者との間にトラブルが発生しないよう注意してください。

③年度内に整備を完了してください。

④助成額が上限に満たない場合でもその差額分を再度申請することはできません。

⑤補助金の交付決定前に発注したものは対象になりません。

【問い合わせ先】総務課 電話42-2111（内線349）

つがる市行政改革推進委員会委員の募集

市では現在、第二次行政改革大綱に基づき行政改革を推進しています。

市のこれまでの取り組みの進捗状況や効果の検証及び「第三次行政改革大綱」の策定について、市民の皆さんからのご意見を反映させるため、つがる市行政改革推進委員会の委員を募集します。

職務内容 市のこれまでの行政改革及び第三次行政改革大綱策定への提言

応募資格 満20歳以上の市内在住の方で、市の行財政に関心を持ち年数回の委員会に出席できる方

募集人数 5人

任期 委嘱の日から平成27年3月31日まで

報酬・費用弁償 市の規定による

選考方法 作文及び書類審査（※選考の結果は応募者全員に通知します）

応募方法 ①作文 テーマ「つがる市の行財政改革について」（※400字程度で用紙の指定はありません）

②履歴書 直接持参するか郵送とさせていただきます。また、履歴書の指定はありませんが、顔写真の貼付及び氏名には必ずフリガナをつけてください。

（※応募書類等は返却いたしません）

応募期限 6月10日（火）持参される方は午後5時まで受け付け（土、日曜日を除く。）

【申し込み・問い合わせ先】〒038-3192 つがる市役所 企画調整課 電話42-2111（内線354）

市営住宅〈空家〉入居者募集

公営住宅

団地名	住戸番号	所在地	建築年度	構造	浴室	浴槽	給湯器	油タンク	アンテナ	汚水処理	家賃月額(円)
浦船団地	3-4号	木造浦船135-5	S56	簡易耐火2階建 6連戸3DK	○	×	×	×	○	汲み取り	13,500～20,100
浦船団地	5-1号	木造浦船135-7	S58	簡易耐火2階建 6連戸3DK	○	×	×	×	○	汲み取り	13,900～20,700
第2 月見野丘団地	28号	森田町森田 駒ヶ淵30-16	H7	木造平屋 2連戸2LDK	○	○	×	×	×	浄化槽	17,500～26,000
森田第2 若緑団地	23号	森田町 上相野若緑50	H20	木造平屋 2連戸2LDK	○	○	○	○	○	浄化槽	25,000～37,200
宮川団地	14号	稲垣町豊川 宮川144-1	H3	木造2階 1戸建2LDK	○	○	○	○	○	下水道	19,200～28,600
富范団地	B-1号	富范町 屏風山1-169	H11	木造平屋 1戸建2DK	○	○	○	○	○	下水道	18,000～26,700

特定公共賃貸住宅

浅井団地	2号	柏桑野木田 浅井40-2	H17	木造2階建 2連戸3LDK	○	○	○	○	○	下水道	45,000～55,000
------	----	-----------------	-----	------------------	---	---	---	---	---	-----	---------------

募集期間	5月13日(火)～5月23日(金) ※入居可能予定日は6月下旬頃となります。
入居者資格	①世帯の収入が政令で定める収入基準であること。 〔政令で定める基準：月額158,000円以下(特定公共賃貸住宅は月額158,000円を超え487,000円以下)〕 ②現に住宅に困窮していることが明らかな人であること。 ③税を滞納していないこと。 ④入居希望者または同居しようとする親族が暴力団員でないこと。
必要書類	①入居希望申請書(市役所建築住宅課にあります) ②平成25年度所得証明書(入居者、同居者) ③全税目に未納がないことの証明書(用紙は市役所建築住宅課にあります) ④入居(同居)予定者が現在居住している世帯全員の住民票 ⑤入居希望者または同居予定者で障害者手帳の交付を受けている方はその写し ⑥印鑑 ⑦収入のある方は、前年の所得金額を明らかにする書類(例：源泉徴収票の写し、住民税申告書の写し等) ※申込者の状況によりその他の添付書類が必要となる場合があります。
選考方法	応募書類を審査のうえ、6月中旬に選考予定
その他	・選考された方は、敷金家賃3カ月分、連帯保証人2人が必要になります。 ・募集期間中に空家が発生した場合は、市ホームページに追加します。

公営住宅〈新築〉 入居者募集予定のお知らせ

桜木団地(木造)は広報6月号に募集内容を掲載する予定です。

【申し込み・問い合わせ先】

建築住宅課 電話42-2111(内線383・386)

